

令和 6 年度以降の新型コロナウイルスワクチン接種について

1 これまでの経過

- ・ R3.2 初回接種開始（1 回目・2 回目） ※従来株
- ・ R3.12 3 回目接種開始
- ・ R4.5 4 回目接種開始 ※オミクロン株 BA.1
- ・ R4.9 令和 4 年秋開始接種開始 ※オミクロン株 BA.4.5
- ・ R5.5 令和 5 年春開始接種開始
感染法上の位置づけ 5 類疾患に移行
- ・ R5.9 令和 5 年秋開始接種開始 ※オミクロン株 XBB
- ・ R6 秋 定期接種（B 類疾患）開始予定

○ オミクロン株 XBB 対応ワクチンの接種回数(令和 5 年秋開始接種)

全体			うち高齢者（65 歳以上）		
対象者数	接種回数	接種率	対象者数	接種回数	接種率
40,173	10,656	26.5%	13,037	6,977	53.5%

2 令和 6 年秋定期接種について

- (1) 対象者
 - ・ 65 歳以上の方
 - ・ 60 歳以上 64 歳未満で基礎疾患のある方
 ※令和 6 年 12 月末現在で 65 歳以上の方：13,375 人
- (2) 接種場所 県内医療機関（個別接種）
※県外で接種した場合は償還払い
- (3) ワクチン 未定（今後、WHO 推奨株を基本にワクチン分科会等で議論される）
- (4) 接種期間 令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 1 月 31 日予定
（インフルエンザ予防接種と同期間を想定）
※令和 6 年 9 月中旬頃に対象者に予診票発送予定
- (5) 接種費用 15,300 円程度（ワクチン代 11,600 円程度＋手技料 3,740 円）
- (6) 自己負担 7,000 円（生活保護者は無料）
※国から市町村に超過分 8,300 円の助成金が支給される
- (7) 費用助成 3,000 円（被接種者の費用負担 4,000 円）

3 予算措置について

(1) 予算規模 85,616 千円

(2) 内訳

- ・ 予防接種委託 80,230 千円
(内訳) 8,300 円 + 3,000 円 × 7,100 人 (対象者の 53%)
- ・ 予防接種委託 3,060 千円
(内訳) 15,300 円 × 200 人 (生活保護者分)
- ・ 印刷製本費 1,348 千円
- ・ 郵送料 979 千円

(3) 補正時期 第 2 回定例会 (6 月議会)

2024(令和6)年2月5日

新型コロナワクチン接種に関するこれまでの検討経緯

		令和4										令和5												
		R3. 2	～	R3. 9	～	R3. 12	～	R4. 3	～	R4. 5	～	R4. 7	～	R4. .9	～	R4. 12	～	R5 .5	～	R5. 秋	～	R5. 9～11	～	R6. 秋
流行株の 評価	感染力	アルファ株 従来株に比べ 推定1.32倍		デルタ株 アルファ株に比べ 1.5倍高い可能性		オミクロン株 デルタ株に比べ高い																		
	重篤性	アルファ株 従来株に比べ推定1.4倍 入院・死亡リスクが 高い可能性		デルタ株 アルファ株に比べ 入院リスクが高い可能性		オミクロン株 デルタ株に比べ入院リスク、 重症化リスクは低い																		
						BA.1、BA.2				BA.5、BQ.1								XBB						
接種方針		2/17 初回接種開始	9/17 検討開始	12/1 3回目接種開始	3/24 検討開始	5/25 4回目接種開始	7/22 検討開始	9/20 令和4年秋開始接種開始	12/13 検討開始	5/8 令和5年春開始接種開始	9/20 令和5年秋開始接種開始	特別臨時接種の終了及び 定期接種化に向けた検討		秋冬 定期接種（B類疾病）										
		対象者 当初：16歳～ 現行：生後6月～		対象者 当初：18歳～ 現行：5歳～ ※R5/3/31終了		対象者 当初：60歳～ +基礎疾患 現行：上記 +医療者等 ※R5/3/31終了		対象者 当初：12歳～ 現行：基礎疾患 のない 5～11歳 ※R5/5/7終了		対象者 ・65歳～ ・5歳～ 基礎疾患 ・医療従事等 ※R5/9/19終了		対象者 6か月～ ※R6/3/31終了予定		対象者 ・65歳～ ・60～64歳の 基礎疾患のある方										
有効性の 知見	薬事	初回接種開始時 発症予防：○(臨床試験で確認) 重症化予防：－ ※重症化予防効果は重症化した例数 が不足しており検証が行えなかった。		3回目接種開始時 発症予防：－ 重症化予防：－ ※中和抗体価上昇を確認		4回目接種開始時 企業による臨床試験では なく、論文等の情報収集 によって議論		令和4年秋開始接種開始時 ・発症予防：－ ・重症化予防：－ ※オミクロン対応2価ワクチン ※中和抗体価上昇のデータあり (BA.1:臨床 BA.4-5:非臨床)																
	ワールド データ	【初回接種】 感染予防：○※1 発症予防：○※2 重症化予防：○※2 ※1 BMJ 2021;373:n1088 ※2 Nat Med 28, 1063-1071(2022)		【3回目接種】 感染予防：○※3 発症予防：○※4 重症化予防：○※5 ※3 Nat Med 28, 1063-1071(2022) ※4 N Engl J Med 2022; 386:1532-1546 ※5 N Engl J Med 2021; 385:1393-1400		【4回目接種】 感染予防：○※6 発症予防：○※7 重症化予防：○※6 ※6 NEJM 2022;386:1712-1720 ※7 NEJM 2022;386:1603-1614		【令和5年度の接種方針】 ○科学的知見等を踏まえ、審議会で見解を整理※8。 ・重症化予防:6ヶ月～、死亡予防:10ヶ月～持続。 ・免疫学的知見からは更に長期間の持続も示唆。 ○オミ株対応ワクチンの知見も踏まえ、R5の方針 を決定。 ※8 2023年度以降の新型コロナワクチンの接種の方針について（令和5年2月 8日厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会）																

新型コロナワクチンの定期接種への導入に係る具体的な規定について

事務局案

【新型コロナウイルス感染症の位置づけ及びワクチンの接種について】

- 第53回分科会の議論を踏まえ、新型コロナウイルス感染症を予防接種法のB類疾病に位置づけることとし、この際、定期接種の対象者等に関する具体的な規定については、以下のとおりとしてはどうか。

定期接種の対象者	(政令)	● 65歳以上の者 ● 60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有するもの(※)
	(省令)	※ 予防接種法施行規則においては、「心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者」と規定。
接種間隔・方法	(省令*)	● 毎年度一回筋肉内に注射する。
長期療養特例	(省令)	● 現行のインフルエンザと同様、特例の適用除外とする。
定期接種対象者から除かれる者等	(省令)	● 現行規定のとおりとする。
副反応疑い報告基準	(省令)	● 現在実施している特例臨時接種と同様の副反応疑い報告基準を定める。
定期接種化の開始時期	(政令)	● 令和6年4月に、新型コロナウイルス感染症をB類疾病に位置づける。 ※定期接種の開始は、令和6年の秋とする。
他のワクチンとの接種間隔	(通知)	● 注射生ワクチン以外のワクチンと同様の取扱いとする。

*を付した省令の規定については、今後の本分科会における議論等を踏まえて更に検討し、後日諮問を予定。

【用いるワクチンについて】

- 秋冬の接種に向け、用いるワクチンに含むウイルス株の選択については、インフルエンザワクチンに関する研究開発及び生産・流通部会の議論も踏まえ、最新のWHOの推奨株を用いることを基本としてはどうか。
- また、選択肢の確保の観点から、様々なモダリティのワクチンについても、開発状況に応じて用いてはどうか。
- 今後の具体的な検討については、インフルエンザワクチンにおけるワクチン株の検討と同様、研究開発及び生産・流通部会において行うこととしてはどうか。

【その他の検討事項及び今後の進め方について】

- ワクチンの初回・追加接種の取扱いについては、今後、薬事における検討状況等を踏まえ、今後改めて本分科会に報告等を行うこととしたい。
- 上記の検討状況等も踏まえ、必要な規定等について、改めて本分科会にお諮りしたい。

新型コロナウイルスワクチン接種の令和6年度の費用負担について

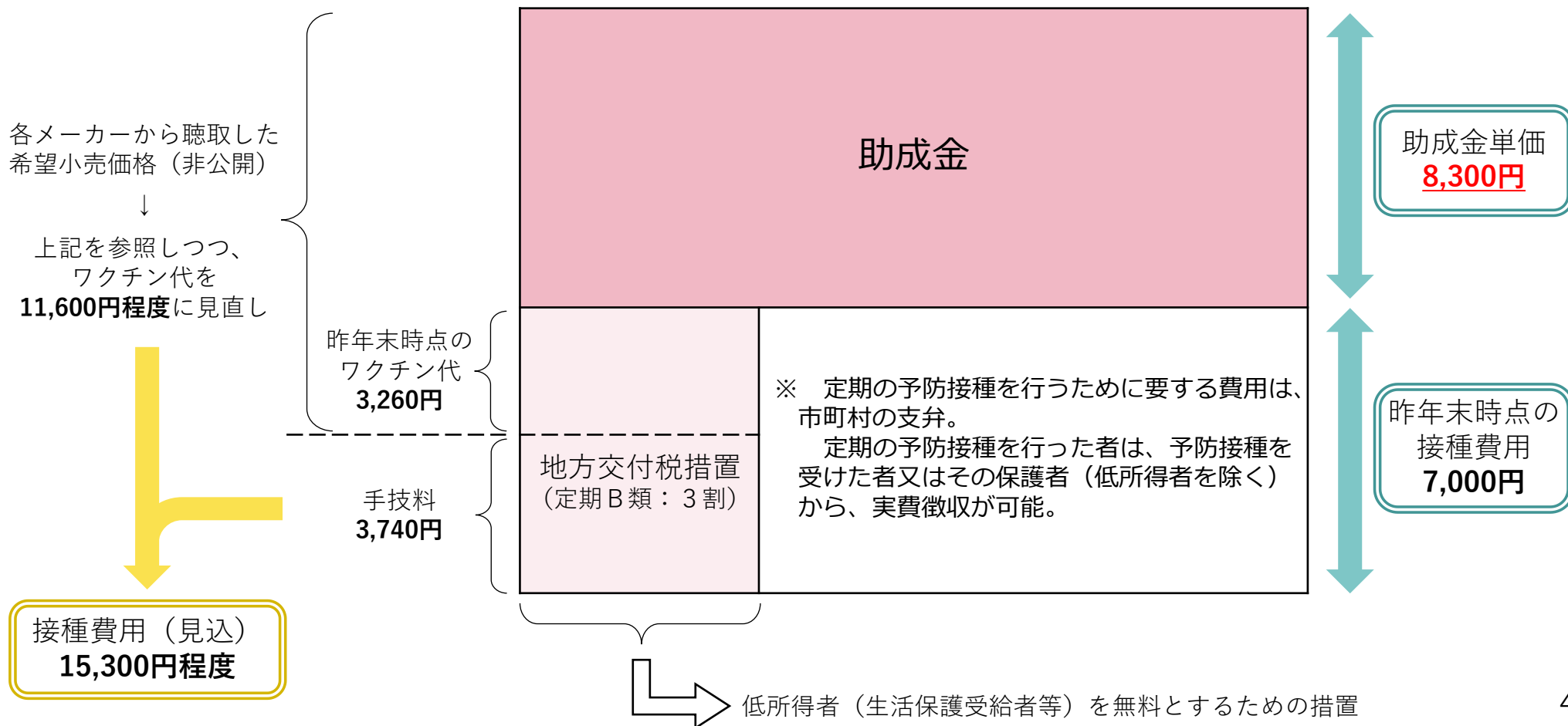
- 新型コロナウイルスワクチンの予防接種については、今年度までは全額国費・無料で実施しているが、来年度からの定期接種化の際、被接種者に費用負担が生じることとなる。
- 令和6年度の定期接種における標準的な接種費用は、以下のとおり7,000円として積算しており、低所得者に関しては接種費用を無料とするため、総接種費用の3割を普通交付税措置することとする。低所得者以外の方の自己負担額については、接種費用7,000円を標準として、各自治体においてご検討いただきたい。

	標準的な接種費用	積算	
		ワクチン価格	手技料
特例臨時接種 (～R5年度)	無料(全額国費)	—	—
定期接種 (R6年度)	<u>7,000円</u>	<u>3,260円</u>	3,740円

※なお、インフルエンザのワクチン価格は、1,500円程度。

来年度の新型コロナワクチン接種の助成金スキーム

- 本年2月に、新型コロナワクチンのメーカー各社から、今秋の定期接種用に供給するワクチンの希望小売価格を聴取（非公開）した。
- 聴取内容を参照しつつ、昨年末時点で3,260円としていたワクチン代について、11,600円程度に見直した。
- その結果、昨年末時点で7,000円としていた接種費用の超過が見込まれるため、超過部分である「8,300円」について、市町村に対して助成金を支給することにより、引き続き7,000円の自己負担で接種が行えるようにする。



助成金支給事務手続きのフロー図

